

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

同志社女子大学の先生方、先輩方が出演されている演奏会を身軽さに行きました。
その演奏に心を惹かれ、同志社女子大学で音楽を学びたいと考え、受験することに決めました。
また、多方面において自分を高めることができると感じたことも魅力でした。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。 ※音楽学科入試課題については、『2019年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。

〔1学期〕

入試に向けて、主に実技の練習をしていました。
私の高校では、コルユージュン、歌う授業があり、また、楽典は昔から習っていた(ピアノ)の先生に教えて頂いていたので、受験のためという対策ではなく、毎日コツコツと進めていました。

〔夏休み〕

夏休みは、吹奏楽コンクールに集中したため、一学期に比べて受験の練習時間は少なくなりました。
ですがその分、短時間で集中して取り組み、また受験を想定して練習を取り戻しました。

〔2学期～入試直前〕

私がこの受験期間で、一番自分の技術向上、自信へとつながったのは冬期講習会でした。
楽典、コルユージュン、実技、どの科目においても、的確な勉強法、受験で必要となる観点、練習法など、当時の自分に必要なことが、たくさん引き出されました。
また、学科試験対策としては、10年分の過去問を理解できるように何度も解き、問題の傾向をつかみました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

この一年間を通して、音楽だけをやらせるとやるよりも、学校行事や普段の生活の中にも、音楽のヒントがあったり、時にはリフレッシュに役立つので、けじめをつけて取り組むことが大切だと思いました。
また、マスクをつけたり、食べ物には特に気をつけ、早寝早起きをし、規則正しい生活を行いました。
楽器においても調子があがらない時がありました。そんな時、他人の演奏に耳を化けると、自分に足りないものがみえました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験という場は、緊張し合格するかどうかなどと考え不安になるかもしれませんが、そんなことを考えるよりも、本番でどれだけ音楽ができるのか、楽しめるのかだと思っています。
自分を信じて、落ち着いて、頑張ってください。
応援しています！